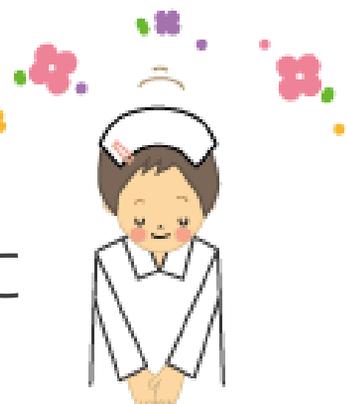


**造血幹細胞移植を受けた
お子様・ご家族へ**
～退院後の生活について～



退院おめでとうございます

_____さん



長い入院生活、移植治療、本当によく頑張りました！！

これから、自宅に戻ります。
移植後は長期にわたり、合併症に注意が必要となります。

感染症や合併症を予防しながら、徐々に
もとの生活に戻していきましょう。

わたしの移植記録

- ・ 移植日：
- ・ 病名：
- ・ ドナー：
- ・ 移植後血液型：
- ・ 免疫抑制剤：

目次

1.注意する感染症……p1

- 1)帯状疱疹
- 2)上気道炎・肺炎
- 3)アスペルギルス
- 4)伝染性ウイルス感染症
- 5)インフルエンザ

2.GVHD……p4

- 1)皮膚
- 2)おなか-消化管
- 3)おなか-肝臓
- 4)口
- 5)眼
- 6)呼吸
- 7)発熱
- 8)その他

3.日常生活……p9

- 1)手洗い
- 2)うがい・歯みがき
- 3)入浴
- 4)ペットや動物との接触
- 5)けが
- 6)水泳
- 7)土いじり・庭遊び
- 8)工事現場・農耕期の畑周辺
- 9)室内清掃
- 10)家電の使用

4.食事……p14

- 1)調理方法
- 2)身の回りの細菌・ウイルスと感染予防法
- 3)食事制限
- 4)外食時の注意
- 5)キッチン道具

5.学校・幼稚園・保育所……p19

- 1)学校で流行る病気
- 2)学校・園での日常生活
- 3)運動会・体育・クラブ活動
- 4)水泳の授業
- 5)学内行事
- 6)学外行事

6.治療上の注意と内服……p23

7.予防接種……p24

8.晩期合併症……p26

9.外来受診……p27

- 1)定期受診
- 2)移植後長期フォローアップ外来



はじめに

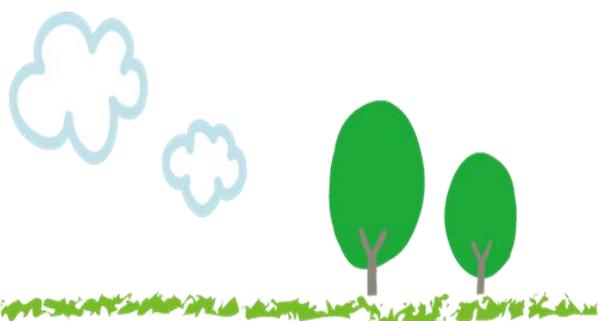


移植後は免疫力が低下します。これは、移植をすることで元々持っていた免疫力を失い、身体の中の免疫システムが新しく作り直されるからです。

免疫抑制剤（プロGRAFやネオオーラルなど）内服中は、さらに免疫力の回復が遅くなります。

免疫のシステムが正常なレベルに回復するには、GVHDの程度などにより、個人差があります。

そのため、退院後もいくつか注意することがあるので一緒に考えて行きましょう。



1.注意する感染症



1) 带状疱疹

移植前に**水痘罹患歴**がある場合に注意が必要です。

水疱を伴う**皮疹**とピリピリとした**痛み**が体の**左右どちらかにだけ出現**するのが特徴です。

発症初期は、軽度の発赤や皮疹を伴わない痛み、違和感で気づくこともあります。

皮疹は絶対につぶしたり、ひっかいたりしないように注意しましょう。

全身のあらゆる場所に出る可能性があります。
入浴時によく観察しましょう。

痛みや水疱が出たら8時半以降に外来に連絡ください。

2) 上気道炎・肺炎

発熱、せき、痰、息苦しい、胸痛が細菌やウイルス、カビにより起こります。

せきが出るときはマスクをしましょう。症状のある時には、頓服薬（ ）を内服してください。

発熱（38.5℃以上）で、眠れないなどつらい時には（ ）を使用してください。

平日は8時半以降に外来に連絡して下さい。
土日は主治医と連絡の取りやすい午前中に連絡して下さい。

3) アスペルギルス（カビ）



空気中に浮遊するカビの胞子がのど・鼻を
通って感染が起こります。

部屋に**ホコリ**をためないようにしましょう。

工事現場や土ぼこりをなるべく避けましょう。

4) 伝染性ウイルス感染症

流行性感染症（水ぼうそう・はしか・風疹・
おたふくかぜ）は移植後、免疫能が低下して
いるため発症しやすいです。

流行時には、外出を控えましょう。

きょうだいの発症や集団生活において、流行時
に注意が必要です。

接触時には、平日の8時半以降に外来に連絡
してください。



5) インフルエンザ



冬季に流行する呼吸器感染症です。

急激な発熱で発病。**かぜ症状**（咽頭痛、せき）を伴います。

潜伏期間は通常1～3日。最も感染力が強いのは前日から発症2日目にかけての3日間です。

発症が疑われる場合、濃厚接触時には平日は8時半以降に、土日は主治医と連絡の取りやすい午前中に連絡下さい。

免疫抑制剤の内服中は、当院外来の受診をお願いします。

免疫抑制剤の内服が終了した後の風邪症状などの対応は、お家の近くの小児科を受診していただくよう、お願いします。



2.GVHD

GVHDとは移植細胞の中にあるドナー由来の細胞が、あなたの身体を外敵と認識して攻撃する免疫反応の一つです。

退院後に多いのは慢性GVHD です。

症状が早く進行する場合や強く現れる時は入院治療が必要です。

症状に気がついたら、平日は8時半以降に、土日は主治医と連絡の取りやすい午前中に連絡下さい。





1) 皮膚

- ・ **赤い皮疹**が出現し、**痒み**を伴う
- ・ **潤いがなくなり**、硬くなることがある
- ・ 関節が硬くなる・皮膚がこわばる
- ・ 色素沈着や色素脱着が見られる
- ・ 爪がもろくなる
- ・ 陰部の皮膚や粘膜が荒れる
(陰部のごわつき・痛み・痒み・不快感・分泌物の変化)

皮疹がないか毎日、お風呂で観察しましょう。
刺激や乾燥を避け、保湿を心がけましょう。
日焼けは症状の悪化を招きますので、直射日光をなるべく避け、日焼け止めを使いましょう。

～お肌のケアについて～

- ・ 石けんを十分に泡立てます。
- ・ 首や関節などしわをのばして洗いましょう。
- ・ 洗うときは素手でやさしく洗います。
- ・ 泡が残らないようにしっかりすすぎましょう。
- ・ 皮膚をこすらないように包み込むようにタオルでふきましょう。
- ・ 入浴後はしっかり保湿をしましょう。



2) おなかー消化管

- ・食欲不振、吸収障害(体重減少)、下痢、便秘
- ・飲み込みにくさ、飲み込み時の痛み
- ・繰り返す下痢、腹痛

腹痛の具合、便回数、性状、色調に注意をしましょう。

下痢の場合はウォシュレット洗浄を行い肛門を清潔にしましょう。

水様性の下痢、下血、腹痛、吐き気、嘔吐があるときは早めに連絡をしましょう。



3) おなかー肝臓

- ・初めは自覚症状はありません
- ・進行するとだるさや、黄疸(白目が黄色くなる)

だるい時は激しい運動を避け安静にしましょう。
強いだるさや、黄疸(白目が黄色くなる)を認めたら病院に連絡をしましょう。

4) 口

- ・ 口の中の痛み、口内炎、**粘膜の荒れ**
- ・ **粘膜が白くなっている**箇所がある
- ・ 口の中が**乾く**、味覚の変化がある



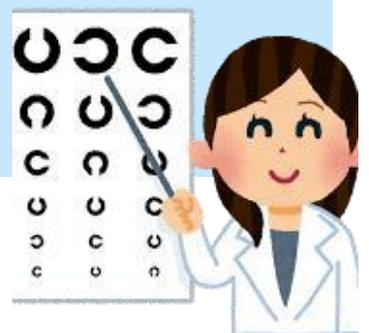
カビの感染を伴うことも多いため、口腔ケアを十分に行い、感染予防に努めましょう。口腔乾燥に対しては口腔内保湿ジェルを使用しましょう。

症状出現時は刺激の少ない物を食べましょう。症状出現時には、病院に連絡しましょう。定期的に歯科受診をしていきましょう。

5) 眼

- ・ 充血、涙液の減少（**乾燥**）、ごろごろする感じ
- ・ まぶしさ、視力の低下、かすんで見える

症状や眼に違和感のある場合は相談しましょう。眼をなるべくこすらないようにし、眼を酷使しないようにしましょう。





6) 呼吸

- ・ 持続する咳がでる
- ・ 日常生活のなかで息切れ、息苦しさをを感じる

症状があるときは、病院に連絡し、診察を受けるようにしましょう。

移植後は放射線、様々な薬剤やGVHDの影響で肺が弱っていることがあります。

受動喫煙にも注意が必要ですし、将来的にも喫煙は控えるようにしましょう。

7) 発熱

- ・ 37℃台の微熱から高熱38℃以上の高熱がでる

処方された頓服薬（ ）を
38.5℃以上で使用し、病院に連絡
しましょう。



8) その他

- ・ 筋肉・関節痛、手のこわばり、関節の拘縮

症状がある時にはご相談ください。



3.日常生活

1) 手洗い

- ・感染予防の基本です。石鹸と流水で丁寧に洗いましょう。
- ・家族もしっかり手洗いをしましょう。

～手洗いのタイミング～

- ・食事の準備の前、食事前
- ・内服の前
- ・トイレの後や汚物処理をした後
- ・帰宅した時
- ・動物と接触した後



2) うがい・歯みがき

- ・免疫抑制剤の内服中は入院中と変わらず、うがい・歯みがきはきちんとしましょう。

乾燥が気になる場合は、マウスウォッシュや保湿用ジェルをお勧めします。



3) 入浴

- ・ 毎日、入浴かシャワー浴をしましょう。
- ・ 下着も毎日交換しましょう。
- ・ 入浴後は、保湿をしましょう。
- ・ 浴室は換気をし、湿気をとりましょう。
- ・ 詰め替え用のボトルは無くなったら
よく洗って乾燥後に詰め替えて下さい。



4) ペットや動物との接触

動物との接触は免疫力によっては、感染の危険性が高まります。

移植後最低1年+免疫抑制剤内服終了までは
ペットとキスしたり一緒に寝ること、排泄物の
処理はしないで下さい。

動物に触れる程度であれば、しっかり
手洗い・うがいを行ってください。



～すでにペットを飼っている場合～

- ・ 触った後は必ず、手洗い
- ・ ペット環境（寝床・かご・トイレなど）は常に清潔にする
- ・ ペットの世話（掃除や排泄物の処理など）はしない
- ・ 殺菌されたペットフードや加熱された物を与える

5) けが

けがをしたり、傷ができたときは、流水でしっかり洗い、確実に止血し、絆創膏などで保護しましょう。

- ・ かすり傷：流水で洗い2.3日観察します。
- ・ 深い傷：化膿する場合があります。
病院に連絡しましょう。



動物にひっかかれた時は
必ず連絡してください。

6) 水泳

海や川・湖の水は動物や人間の排泄物や病原性大腸菌O-157に汚染されている可能性があるため、移植後最低1年間は海や川などでの水泳はできません。

始める時は病院で相談しましょう。



7) 土いじり・庭遊びなど

土壌中にも多くの細菌やカビが含まれます。土を掘り起こすことで、体調を崩すことも考えられます。そのため移植後半年以降に、主治医に確認後始めるようにしましょう。

※学校・幼稚園での注意点は
p20を参照してください。



8) 工事現場・農耕期の畑周辺



- ・土木工事や建築現場などでは多くのカビが空中に散乱します。
- ・農耕期の畑周辺も同様です。
周辺を通る場合はマスクをしましょう。
- ・家の改築・改修は移植後半年は避け、工事現場の周辺にもできるだけ近づかないようにしましょう。

9) 室内掃除

- ・掃除の時は、**換気とマスクをしましょう。**
- ・掃除の後は、手洗い・うがいをしましょう。
- ・日頃からこまめに掃除をし、**ほこりがたまらないようにしましょう。**
- ・掃除はほこりが出来るだけたたないように、静かに行い、**ほこりを吸い込まないようにすることが大切です。**

※学校・幼稚園での注意点は
p20を参照してください。



10) 家電の使用

・エアコン

久しぶりに使用するときには、しっかり掃除を行いましょう。フィルター掃除の頻度は取扱説明書を確認し注意点を守るようにしましょう。

・加湿器

超音波式や気化式の加湿器の使用は控えて下さい。これらの加湿器は適切に管理されなかった場合、水の粒子と一緒にカビや細菌を空中に散乱させる可能性があります。

・空気清浄器

移植後、必ず準備する必要性はありません。使用する場合は取扱説明書を確認し、フィルター掃除など適切に使用するようにしましょう。



4.食事

退院直後は入院中の原則加熱料理の食事となります。退院後1-2ヶ月目から食事制限の緩和を考慮していきますが、次の2点が制限緩和の基準となります。

- ・ 免疫抑制剤の内服が 1 種類
- ・ GVHD症状の安定

また、移植後1年以内、もしくは免疫抑制剤を内服中は食べ物からの感染症に注意する必要があります。その中で摂取可能な食品を考慮できますので、主治医と相談していきましょう。

基本的に**食あたりを防ぐ工夫をすることが大切**です。制限解除となるまでには少し時間がかかりますが、次のことに注意していきましょう。



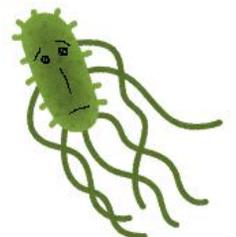
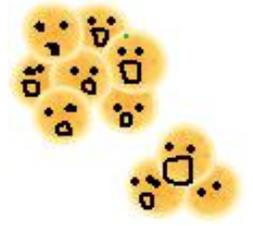
1) 調理方法

- ・調理台は清潔にしましょう。
- ・手洗い後に調理を行い、清潔な包丁・まな板、食器を使用して下さい。
- ・水回りは菌が繁殖しやすいため、食器をふくめ、よく乾燥させて下さい。
- ・まな板の使用は、**野菜→生肉の順番**で使用して下さい。
- ・加熱料理は**しっかりと火を通します**。
- ・食材は（肉・魚・卵）は**新鮮なもの**を選びましょう。
- ・手荒れや手に化膿創がある人は食品に直接触れてはいけません。
- ・調理後**2時間以上室温に放置することは避け**、食品を作り置きする場合は必ず冷ましてからラップをかけて**冷蔵庫**または**冷凍保存**をして下さい。
- ・作り置きしたものは、調理後にすぐに冷蔵保存した場合は調理後2日以内、**冷蔵庫から出した後は2時間以内**に食べるようにして下さい。
- ・冷凍のものを解凍するときには**自然解凍は避け**、電子レンジで解凍してください。
- ・食品は賞味期限・消費**期限を確認し**、**厳守**しましょう。また、調味料など適切な管理のもと早めに使い切りましょう。



2) 身のまわりの細菌・ウイルスと予防法

- ・腸炎ビブリオ⇒魚介類
水で良く洗う、低温管理、加熱調理
- ・サルモネラ⇒肉・卵・乳
加熱調理、卵は冷蔵庫保管
- ・病原大腸菌⇒様々な食品、井戸水
手洗い、加熱調理
- ・カンピロバクター⇒肉（特に鶏肉）、水、乳
肉と他の食品を別々に保存、加熱調理
- ・ウェルシュ菌⇒水や土壌、食肉加熱調理品（カレーやシチュー等）
十分な加熱調理、弁当・仕出し・集団給食注意
- ・黄色ブドウ球菌⇒素手で調理した おにぎりなど
手指消毒、手指に傷口がある場合は調理しない
- ・セレウス菌⇒穀物加工品・チャーハンなど
一度に大量の米飯・麺類を調理しない
米飯・茹でたスパゲッティを室温放置しない
- ・ボツリヌス菌⇒魚肉発酵食品、いずしなど
新鮮な原材料を用いて十分に洗浄をする
- ・ノロウイルス⇒二枚貝などの牡蠣、はまぐりなど
手洗い、十分な加熱調理
- ・ロタウイルス⇒人から人へ（乳幼児の排泄物）
手洗い



3) 食事制限

- ・ **主治医確認後**、寿司などの新鮮な生魚を徐々に食べて構いません。
- ・ 生肉（生ハムを含む）、生卵、カビのはえたチーズ、生牡蠣、井戸水は避けてください。
- ・ **一般的に食中毒を起こしやすい食材は避けましょう**。食べたい時は主治医に確認してからにしましょう。
- ・ 脂肪は消化時間が長く、胃腸に負担がかかるので、摂りすぎないように注意しましょう。
- ・ 香辛料などの刺激の強いものは控えましょう。
- ・ 生野菜・果物は新鮮なものを選び流水でよく洗えば生のまま摂取できます。
- ・ **味噌は加熱調理後**摂取してください。
- ・ **納豆**の摂取は**主治医確認後**となります。
- ・ 豆腐は殺菌表示のあるもの、無菌充填されているものを選択しましょう。
- ・ 生の木の实・ドライフルーツは**主治医に確認後**食べましょう。
- ・ ハチミツ・メープルシロップは殺菌表示のある製品を選びましょう。
- ・ 食品がむきだしで陳列されているものは内服終了後まではなるべく避けるようにしましょう。
- ・ 惣菜は、ショーケースの中に入っていて、加熱してある食品を選びましょう。
- ・ **水道水は飲んでもかまいません**。



4) 外食時の注意

- ・衛生状態のよさそうな店を選びましょう。
→店内が清潔である、禁煙席がある店
大量（1日に750食以上）の食品を提供しているチェーン店など
- ・免疫抑制剤の内服中は屋台は避けましょう。
お祭りなど行く機会がある際は主治医に確認してからになります。
- ・注文を聞いてくれるお店を選びましょう。
→加熱料理の注文など
- ・サラダバーやドリンクバー、バイキングなど食品がむき出しに陳列されているものを提供しているお店は避けましょう。

5) キッチン道具

- ・台所やスポンジ、ふきんは、よく洗って乾燥させましょう。
- ・冷蔵庫は水分により、カビが発生しやすい環境にあります。こまめに拭き掃除をしましょう。



5.学校・幼稚園・保育所

退院後は通学していただいて構いません。周囲と一緒に生活をしていくことで徐々に体力は戻ってきますので、焦らずゆっくり生活に慣れていくようにしましょう。

退院前から、学級担任や養護教諭と連絡を取り合いながら通園・通学後の対応について話し合う機会を設けましょう。

発達についての心配事や困り事や就学についての相談にも応じます。



1) 学校で流行る病気（感染症）

移植後は、免疫抑制剤を内服をしていたり、免疫能の回復が十分ではありません。そのため、学校や園で流行っている病気を知っておきましょう。

以下の病気との接触、集団生活で流行があった場合は平日なら日中に、土日なら午前中に病院に連絡してください。



**水痘（みずぼうそう）・インフルエンザ
麻疹（はしか）・風疹・おたふくかぜ** など

2) 学校・園での日常生活

(授業・給食・掃除・生き物の世話)

- ・ 通常の室内の授業では特に問題ありません。
- ・ **感染流行期はマスクを着用**しましょう。
- ・ 給食は厳重に管理されているので問題ありません。
- ・ お弁当の持参は保冷材の使用や冷蔵庫の借用など、管理の仕方に注意をしてください。
- ・ **免疫抑制剤内服中はグレープフルーツ等の苦味のある柑橘類**（ジュースも×。オレンジ・レモンは可）の摂取を避けましょう。

次のような時も、できるだけ周りと同じ活動ができるように、担任・主治医と相談していきましょう。

- ・ 理科の授業で植物や土に触れる機会がある
- ・ 社会科で地域の調査にでる
- ・ 掃除当番
- ・ 生き物係の世話



学校や園で注意することは日常生活の注意点と同じです。

できる限りマスクや手袋を着用し、活動後は丁寧に手洗いをするようにしましょう。

3) 運動会・体育・クラブ活動

普通に通園・通学が可能な状態であれば、無理のない範囲で参加できるでしょう。

次の場合は注意が必要です。

- ・ **今までの治療の影響で骨が弱くなっている。**

→運動の強度は主治医と相談しましょう

- ・ **慢性GVHDや合併症がある。**

→主治医や学級担任・養護教諭と対応を検討しましょう



4) 水泳の授業

免疫能が十分ではない状態ではプールの水の汚染が問題となります。

始めても良い時期については**主治医と相談**していきましょう。

屋外でのプールは日焼けの問題があります。

皮膚の状態によっては**開始時期の相談**が必要です。

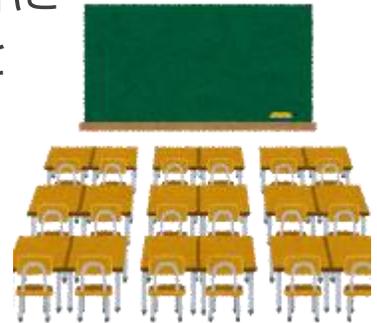
開始時は水に浸る程度の軽い運動から始めましょう。



5) 学内行事(入学・卒業、文化祭、学芸会)

基本的には制限の対象になることはありません。

インフルエンザなどの感染症の流行時期などは、マスクをし、空気の流れのよい場所に席を移してもらうなど、個別対応を学級担任に相談しましょう。



6) 学外行事(遠足、社会見学、宿泊訓練、修学旅行)

免疫力や体力によって、参加の程度が異なります。事前に担任・主治医と相談していきましょう。

大切な思い出にもなる学校行事です。

主治医の許可があるにも関わらず、学校の事情で「参加禁止」という結論がだされる場合もあります。内容によっては実現可能になることもありますので、ご相談ください。



6.治療上の注意と内服

プログラフ・ネオーラルは
時 時の内服です。

《薬を飲み忘れた》

6時間以内であれば気づいた時点ですぐに内服して下さい。次の内服時間は決まった時間に内服して下さい。6時間以上空いてしまった時はスキップして外来受診時に教えて下さい。

《飲んだあとに吐いた》

30分以内であれば、再度、内服します。

《薬の中止は？》

自己判断で決して中止しないでください。医師の指示のもと減量していきます。

《食べ合わせ》

グレープフルーツ・スウィーティ・はっさくなどは薬の作用を強くします。食べないようにしてください。



7. 予防接種

移植によって、以前獲得していた免疫が失われるため、予防接種の必要があります。

予防接種前の感染予防のためには、家族がまず予防接種していくことが大切です。

予防接種の開始基準と接種回数

～不活化ワクチン～

- ・ 移植後1年を経過
- ・ 免疫抑制剤の内服が終了
- ・ 免疫能の回復(採血で調べます)



4種混合：3回、**肺炎球菌**：2回、**ヒブ**：2回

日本脳炎：2回(無料券がある場合もしくは希望者のみ)

※助成券の有無や過去の接種回数、年齢などによって接種回数が変わることがあります。

～生ワクチン～

- ・ 移植後2年を経過
- ・ 不活化ワクチンの接種で問題がない

MR(麻疹/風疹)：1回、**水痘**：1回、**おたふく**：1回

※全ての接種を終えた時点で抗体価を確認。基準に満たない場合は再接種となります。

病院により値段が違いますので、近医の小児科で接種しても構いません。

無料券があれば、予定期間が過ぎたものであっても捨てずに置いておいてください。

インフルエンザの接種も可能ですが、移植後早期や免疫抑制剤の内服中は、効果的な予防は期待できません。ご相談ください。



予防接種料金表

令和2年7月1日

■ 自己負担なしで接種可能な予防接種（条件：対象期間内かつ予診票（個人票）使用）

予防接種の種類	対象期間内 かつ 予診票（個人票）使用	※ 実費料金（税込） 【対象期間外の場合】
ジフテリア・百日せき・破傷風・急性灰白髄炎（ポリオ） （四種混合）	自己負担なし	13,058円
ジフテリア・百日せき・破傷風 （三種混合）	自己負担なし	7,558円
ジフテリア・破傷風 （二種混合）	自己負担なし	5,313円
不活化ポリオ（単独）	自己負担なし	11,813円
麻しん・風しん混合	自己負担なし	11,638円
麻しん	自己負担なし	8,558円
風しん	自己負担なし	8,558円
日本脳炎	自己負担なし	8,008円
ヒブ（インフルエンザ菌b型）	自己負担なし	10,472円
小児用肺炎球菌	自己負担なし	13,838円
子宮頸がん	自己負担なし	16,863円
水痘	自己負担なし	10,318円
B型肝炎	自己負担なし	7,132円

■ 自費予防接種

予防接種の種類	料 金（税 込）
インフルエンザ	1回目 4,000円
	2回目 2,800円
	（※1回目と異なる医療機関の場合） 2回目 4,000円
ロタウィルス胃腸炎	11,770円

※ 仙台市の費用助成対象の予防接種

予防接種の種類	自己負担額 【仙台市に住民票があり、 接種日に1歳以上2歳未満の方】	※ 実費料金（税込） 【仙台市に住民票がない場合】 【対象期間外の場合】
おたふくかせ	2,500円	8,558円

※ 詳細は、1階医事課「受付」窓口にお問い合わせください。

8. 晩期合併症

成長発達の途中に、病気を治すために行った、強い薬物療法や放射線療法の治療の影響により様々な合併症が起こることが多く、中には長く続くこともあります。

内科的な異常

内分泌・神経・消化器・腎尿路・呼吸器・心血管系

全身の臓器への異常

脊椎四肢・歯牙口腔・皮膚・耳・鼻・眼

その他

二次がん（良性・悪性）

精神・心理学的問題や教育・社会面の問題

内分泌(ホルモン)異常の頻度が高いと言われています

生殖機能障害(性腺機能低下症、妊よう性の低下、早期閉経)、成長障害(低身長)、下垂体機能低下症、甲状腺機能異常、副腎皮質機能異常、中枢性尿崩症、骨塩量低下、肥満・やせ、耐糖能異常



内分泌異常の経過に関わらず、治療年数を経てから発症する可能性がありますので**長期の経過観察が必要です。**

9.外来受診

1) 定期受診

症状や合併症の程度により異なりますが、最初は2週に1回のペースで受診になります。

免疫抑制剤の内服中は、薬の血中濃度を測定しますので、**朝は免疫抑制剤を飲まずに来院**し、採血後に内服します。

予約外の場合は、一度、病院に電話した後に、必要時、受診していただくこととなります。

2) 移植後長期フォローアップ[®]外来(SCT外来)

移植後に困っていること・不安に思っていることに関して、サポートさせていただきます。

担当は、研修を受けた病棟看護師と外来看護師で担当させていただきます。

※造血幹細胞移植後指導管理料300点が加算されます

《外来日》

毎月第2火曜日・第4金曜日（要予約）
血液腫瘍科外来の診察前に問診します。

《場所》

外来処置室

《対象者》

移植を受けた患者さんのご家族



外来電話相談

平日：8:30～17:00
土日・祝日：午前中

TEL 022-391-5111 (代表)

※緊急時には24時間電話対応可能です。



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL
宮城県立こども病院

血液腫瘍科
2020年9月 改訂